

使用説明書

重要 強く大きく30回以上振ってください。

しっかり振らないと、ゆるいホィップや液状になり、目に入る場合があります。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

? 本品に限らず、ヘアカラーでかぶれの症状がでたことはありますか?

YES 絶対にヘアカラーをしないでください

かぶれの典型的な症状

- ①染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ②使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応***が突然起こることがあります。(※全身じんま疹、呼吸困難等)

NO 毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

▲ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ①今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ①染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ②頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激を受けやすくなります。
- ⑤染毛の前夜1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ①薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ②換気の良い所で使用してください。
- ③必ず添付の手袋を着用してください。
- ④染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
- ⑥薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。

万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

⑦染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。

⑧染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ①混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ②混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。

5 保管上のご注意

- ①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲みだり食べたりすると危険です。
- ②高温や直射日光を避けて保管してください。

他に守っていただきたいこと

- ①幼児には使用しないでください。
- ②公衆浴場等でのご使用は、汚れ等で周囲の人の迷惑になりますので、ご遠慮ください。
- ③薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ④パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますのでご注意ください。
- ⑤高温や直射日光を避けて保管してください。高温になった製品をそのままご使用になりますと、しっかりしたホィップができません。このような場合は、混合前に、室温20~30℃に1時間以上置いてからご使用ください。

使用前に知っておいていただきたいこと

- ①使用前に必ずご自分の髪色と仕上がりがイメージを箱の裏側でご確認ください。
- ②本品は白髪用ではありません。白髪に使用した場合は希望の髪色になりません。

より詳しい情報はこちら

●ヘアカラーによるかぶれの情報

ホーユー パッチテスト 検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html

商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時~午後5時

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストを行ってください。

1 次のものを準備します

箱の中に入っているもの

1剤 2剤

用意するもの

綿棒 小皿等 ※金属製のものは使用しないでください ティッシュペーパー等

綿棒・小皿が用意できない場合

手袋をして、薬剤をシェイカー容器のキャップに出し、指で混ぜ合わせることもできます。

2 パッチテスト用の混合液をつくります

①1剤を綿棒につたわらせて、ごく少量を小皿等に出します。 ②2剤を綿棒につたわらせて、1剤の2倍量を出します。 ③綿棒で混ぜ合わせます。

※1剤・2剤はキャップをしっかりとめ、大切に保管してください。

※薬剤が大量に出ないように、ゆっくり出します。

3 腕の内側にぬって48時間放置します

①混合液ができたら、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。(②で、指で混ぜた方は、そのまま指でぬってください。手袋とキャップは洗浄して保管してください。)

②自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。 ※時間を必ず守ってください。

10円硬貨大

- ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
- 混合液をぬった所は絆創膏等で覆わないでください。
- パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。やむなくシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようご注意ください。

4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合液を洗い落としてヘアカラーはしないでください。

5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

※パッチテストの結果、万一異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。

※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちていきます。

ご使用前の準備

注意

- 寒い所では染まりにくいので、室温が20~30℃の場所でお使いください。また、薬剤は常温に戻してからお使いください。
- 髪のからまりを防ぐために、必ず髪をとかしてください。
- 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
- シャンプーは、なるべく染める前日までに済ませてください。整髪料や洗い流さないトリートメント等が髪についているときは、薬剤を髪につけたあとにたれ落ちやすくなりますので、十分に洗い流してください。また、髪の汚れがひどいとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときも、十分に洗い流してください。

[やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]

- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
- 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれて目に入ったり、染まりが悪くなる場合があります。

便利なグッズは、オンラインショップでご購入できます。

ホーユー サポートグッズ 検索

油性クリーム・ケープ等

1 必要なものをそろえます

箱の中に入っているもの

1剤 2剤 シェイカー容器 手袋 使用説明書 アフターカラー美容液(洗い流さないタイプ)

用意するもの

- 化粧ケープかタオル
- 水をはじく油性クリーム
- 時計
- ティッシュペーパー等
- 汚れてもかまわないタオル
- シャンプーとコンディショナー等
- 新聞紙等の敷物
- 鏡

2 汚れ対策をしてください

①汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。

②化粧ケープかタオルで衣服をガードします。 ※たれ落ちたときのために、汚れてもかまわないタオルを、さらに肩や首に巻くことをおすすめします。

③水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあし、腕等にぬります。薬剤が皮膚についても落としやすくなります。 ※ただし、油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので、ご注意ください。

④メガネ、コンタクトレンズやアクセサリ等は、はずしてください。

⑤新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。 ※特に、衣服、たたみ、じゅうたん、壁、家具等に薬剤がつくと色が落ちませんので、ご注意ください。

皮膚が着色した場合

- 強くこすると炎症や傷の原因になりますので、ご注意ください。
- メイク落としを汚れた部分につけてなじませ、しばらくの間、軽くマッサージをしてください。次に、上から蒸しタオルをかけて、石けんで洗い流してください。石けんをタオルにつけて軽くこするのも効果的です。
- 汚れが残った場合でも、洗髪や入浴によって、数日程度で自然に落ちていきます。

ご使用の手順

ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。

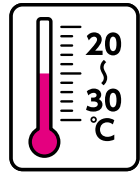


すぐ分かる！染め方動画



重要 薬剤が温まりすぎると、**ホイップになりません。**

混合前に、薬剤を
室温 20～30℃の場所に
1時間以上置いてから
ご使用ください。



注意 ● 薬剤が目には絶対入らないようご注意ください。
汗をかくと、薬剤がたれて目に入るおそれがあります。高温・多湿の場所（お風呂等）では染毛しないでください。

目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。



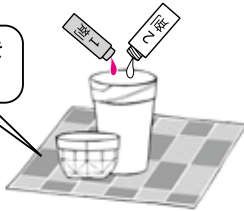
● 染める2日前（48時間前）に毎回必ず、皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。

ホイップをつくります

1 シェイカー容器に、1剤と2剤を**全量**入れます。

すぐに

必ず新聞紙等を敷きましょう。



注意 ● 使い切りタイプなので、1剤・2剤は分割使用できません。残した1剤・2剤は、染毛効果が弱くなり、希望の色になりません。
● 必ず使用の直前につくり、混合から塗布まで、途中で中断（放置）しないでください。
● 1剤と2剤を入れて放置すると、ホイップができにくくなりますが、品質には影響ありません。

2 キャップをしめ、両手で強くしっかり振ります。

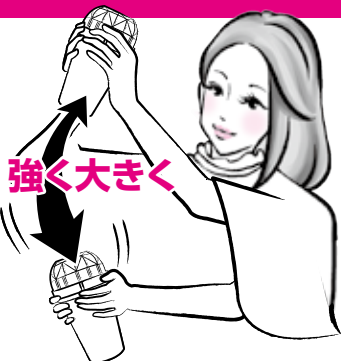
すぐに



容器とキャップの縦線が合うようにしめます。

注意 ● 容器を強くにぎらないでください。容器が変形して、薬剤がこぼれるおそれがあります。
● 落とさないように両手でキャップと容器をしっかり持ってください。

重要 両手でしっかり振ってください。



強く大きく、30回以上振る

※ 振っている感覚がなくなっても、振り続けてください。
※ しっかり振らないと、ゆるいホイップや液状になり、たれ落ちや目に入る場合があります。

3 キャップをあけます。

● ホイップがこぼれないように、必ず新聞紙等の上で、容器を傾げずに静かにあけてください。



注意

● キャップをしたまま放置しないでください。ガスが発生して容器が破裂したり、薬剤があふれ出るおそれがあります。
● もう一度キャップをしめたり、振り直さないでください。飛び散り等のおそれがあります。

※ ホイップの質や量は、振り方や薬剤の温度等により異なります。
※ ホイップの色は仕上がりの色とは異なります。

乾いた髪に、ホイップをぬります

ぬる時間 **10分**

4 手袋をはめ、ホイップを手ですくって、髪全体に**たっぷり**ぬります。

● 明るさの目立つ部分からぬってください。



注意

汚れにご注意ください。
● 薬剤が地肌につくと汚れが取れにくくなりますので、あまりつかないようにしてください。薬剤が肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。
● ホイップをぬるときに手ぐしをしたり、にぎるようにすると、たれ落ちることがあります。髪をなでるようにぬってください。
● 過剰にぬると、たれ落ちすることがあります。髪が細い方や少ない方は使用量を調節してください。
● 薬剤をぬった前髪がたれて目に入らないようご注意ください。

ポイント

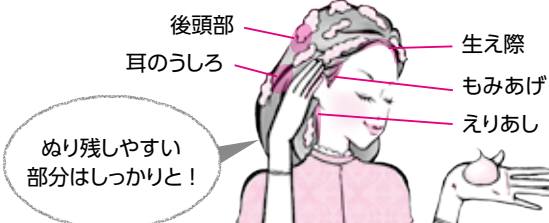
分け目を変えながら、髪の内側にぬります。

後頭部は上から順に髪を分けながらぬってね。

生え際や耳のまわり、えりあしは、髪を持ち上げるようにしてぬります。

髪の内側にぬったあとは、表面にもぬって毛先のほうにもなじませます。

5 ぬり残しがいないかチェックして、**もう一度しっかりぬり足します。**



注意

● ゆるいホイップや液状のものは使用しないでください。たれ落ちや目に入る場合があります。
● もう一度振り直さないでください。手やシェイカー容器についたホイップが飛び散るおそれがあります。

6 ホイップを髪全体にいきわたらせます。

● ぬる時間が10分より短かった場合でも、10分たつまでお待ちください。



注意

たれ落ち等のおそれがあるので、クシ等で髪をとかささないでください。

放置します

放置時間 **15分**

7 髪をまとめて、15分ほど放置します。

● あまり暗くしたくない方、非常に明るい・いたんだ髪の方は、**5分ほど短く**、より暗くしたい方は、**10分ほど長く**放置してください。

※ 長く放置しすぎないでください。
髪が暗くなりすぎたり、髪や地肌をいためるおそれがあります。
※ 暗くなりすぎた髪は、ヘアカラーやブリーチ等で明るくすることは困難です。
※ 放置中に泡が消えることがありますが、仕上がりに影響ありません。

● 薬剤が肌についていないか確認してください。

注意

● ラップやヘアキャップをつけしないでください。汗をかくと、薬剤が目に入るおそれがあります。



● 残った薬剤は必ずすぐに洗い流してください。放置しておくと、ガスが発生して容器が破裂したり、薬剤があふれ出るおそれがあります。

洗い流します

8 よくすすぎ、シャンプーを2回します。コンディショナー等をして洗い流し、タオルで水気をよくふき取ります。

※ 汚れてもかまわないタオルでふいてください。

すすぎ時に髪のかしみを感ずる場合がありますが、タオルドライ後に添付のアフターカラー美容液を使えばなめらかに仕上がります。



注意

● すすぎ湯が目に入らないよう、特にご注意ください。
● すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があります。髪をすすぐ前に、浴槽やタイル等をぬらしておくことで汚れが落ちやすくなります。

9 添付のアフターカラー美容液を少量ずつ手に取り髪全体になじませ、よく乾かして仕上げます。

※ 洗い流す必要はありません。

使用後のご注意

● 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので、ご注意ください。
○ 髪がぬれているとき（運動等で汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後等）。
○ 整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
○ ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。
● 次回ヘアカラー（ヘアマニキュアを除く）を使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。